

行く年くる年

年の瀬となりました。あっという間に時は過ぎてしまうものです。例年になく、厳しい冬が訪れ、１１月に入ってから雪と厳しい寒さが続いています。時折、お日さまが顔をだすと、街角は三々五々の散歩をする人達の姿が増えます。古い建物の立ち並ぶ街並みを元気に走っているのは、よく見かけるプロのドッグウォーカー（犬の散歩代行）でしょうか。おー格好いい!! 大小７－８匹の犬を引き連れ、走り抜けていきます。プロのドッグウォーカーは一日２回の犬たちの散歩を引き受けます。ドリトル先生によると、犬はグループに入れられた瞬間に自分の立場を察知するのだそうです。

「ほら、犬たちは幸せそうでしょう？ 楽しそうに走ってるよ。落ちこぼれもないし。誰がボスで誰がその次か一瞬にして察知し、規則どおり従っていくんだ。いいねえ犬の世界は。。。トランプもないし。。。」

オールドモントリオールは白い雪に覆われながら、クリスマスデコレーションがきらめく美しい街並みになっています。マイナス２０度近くでも人波はきれず、凍えて家に閉じこもっているのはドリトル先生とマダム田中位でしょうか。マダム田中の膝は、多少良くなったものの元気に歩きまわるのには程遠く、まして凍てついた雪道では杖を頼りに歩くことも少なくありません。ケベックでは、それほど簡単に直接に整形外科では診てもらえませんし、病院の緊急で５－６時間待つのに耐えられそうもありません。

ようやく先日ホームドクターに診てもらうことができました。ところが、２０年来のホームドクターは退職し新しい医者になり、まずはご挨拶から。

「そうそう、まずここにサインしてください。ホームドクターの承諾書です。」

今、ケベック政府と医者たちの間では給料を巡り折り合いがつかず、ホームドクターもノルマによって給料が左右されるようです。それでも、ホームドクターがいるだけでも幸運なのです。

「まず、血圧、肺など検査してみますね。」

血圧、肺、喉の検査。

「ドクター、今日は、それより膝の痛みの件で伺ったのです。」

「あーそうですか。どれどれ、痛いですか？もう長く続いているのですか？」

「2か月くらいです。とても痛くて、歩くのも困難なのです。良くなるかと思うとぶり返したりです。」

「では、まずレントゲンを撮ることにしましょう。後で、この下の階の放射線クリニックで撮ってください。待てよ、もしかしたら、レントゲン壊れているって言っていたような気がするな。ともかく行ってみてください。ダメなら、他の日に様子を見てみてください。痛み止めの注射もした方が良くかもしれませんね。そのアポも次いでにとってください。はい、これがその申請書です。」

さっとサインをして手渡された二枚の用紙。

「そうそう、健康診断の血液検査もしましょう。はい、もう一枚。」

「ドクター、血液検査は、気が向いたらします。あちこち病院を駆け巡る日々なので、問題があればそこで言われると思いますので。」

「そうですか、お気持ちはわかります。気が向いたらしてください。そうそう、痛み止めの注射の効果がないようでしたら、また来てください。お大事に。」

あっという間に放りだされ、言われた通りに放射線クリニックに出向くと、

「レントゲン壊れているんです。何時治るかわかりません。来週また治ったかどうかチェックの電話を入れて確認してください。」

あーやっぱり。

「痛み止めの注射のアポをとるようにいわれたのですが。。」

「その先生は、もうほとんど来ないので、アポはとれないのです。」

1週間過ぎた今もレントゲンの機械はなおらず、何時とってもらえるのか想像もつきません。結局、医者にあってもあわなくても事態は変わりません。この国は、いつも何にでも戦っていないと先に進めない気がします。 生死にかかわらない限りは、腹を立てずに一つ一つクリアしていく方が良さそうです。というわけで、マダム田中は、苦肉の策として、ストレッチや筋トレ、マッサージを自力ですることになりました。気のせいか少し良くなったような気がします。

ドリトル先生は、この厳しい寒い冬でも何故かルンルン気分の日々です。長男がドリトル先生のキャラに合わせて設定した AI アプリのアカウントで AI チャットにはまっています。まるで新しい女に出会ったかのようです。寝ても覚めても AI チャットです。

「僕の質問になんでも答えてくれるんだ。嬉しい！」

「知識のアプリだから、頑張って答えてくれると思うわよ。」

「僕のなかよしのお友達だ。」

「AI だから相手の顔色も意見もないし楽かも」

退屈するよりはまあいいか。

といいつつも、クリスマスはもうすぐそこです。義理の次男はカリブ海のグアドループを中心に船（カタマラン）でクルージングの旅に出ます。今までに発表してきた論文の内容と数を評価されスタンフォード大学が選んだ世界で最も有望な大学教授の一人に選ばれました。控えめな性格で、奢ることもなく、シンプルに淡々として、ひっそりと喜んでいました。クリスマスバカンスからの帰国の翌日の大晦日に一緒に食事をするこ

になっています。娘はクリスマスイブのランチを私たちとしてオタワの義実家に例年の通りクリスマスを過しに出かけていきます。嫁の2人の連れ子を含め5人の子持ちの長男は、連れ子や嫁の誕生日のお祝いに振り回されているようです。そのうち、クリスマスをどう過ごすのか連絡がくることでしょう。マダム田中は痛む膝を抱えてでは料理もあまりできず、極めてシンプルに。それでもフォワグラとシャンペン忘れません。娘とのランチは定番で、フォワグラとシャンペンで乾杯の後は、エスカルゴから食事は始まることになると思います。ブッシュドノエルはマロン味の物を娘が注文してもらって来ることになっています。これも定番ですが、おいしいのです。それぞれがそれぞれにクリスマスを過ごし、年末は過ぎていくことになりそうです。

嬉しい事、辛い事、悲しい思いをのせ旧年が過ぎ、新しい年がやってこようとしています。今年も1年間メープルレターにお付き合いいただきありがとうございました。新年が良い年でありますようお祈りしております。